令和８年８月４日
瑞浪市夢づくり地域交付金等事業審査会資料

資料５－８

令和７年度瑞浪市夢づくり地域交付金事業

【日吉町
まちづくり推進協議会】

●実績の概要

事業数	５事業
事業費総額 （決算時）	１，９４７，３７８円
交付金決定額 （うち加算額）	９１６，０００円 （０円）
交付金決算額	９１６，０００円
交付金返還額	０円

●添付資料

・実績報告書※各事業の実績書の前に当初の計画書を添付　Ｐ１　～Ｐ２１
・事後評価調書　Ｐ２２～Ｐ２６
・参考写真
（令和７年度夢づくり地域交付金事業の様子）　Ｐ２７～Ｐ３１

様式第８号（第１１条第１項関係）

令和8年4月24日

瑞浪市長　様

（申請団体）
所在地：瑞浪市日吉町４０９３番地の２
名称：日吉町まちづくり推進協議会
代表者氏名：会長　小栗　正敏　　㊞

夢づくり地域交付金実績報告書

令和７年５月２日付瑞浪市指令第５０号の６で交付決定された夢づくり地域交付金の事業計画について、夢づくり地域交付金交付規則第１１条の規定に基づき、下記のとおり報告します。

記

１．実績書（様式第９号）

事　業　名
１．特産品開発事業
２．日吉町活性化事業
３．まちづくり情報発信事業
４．移住定住促進事業
５．教育文化事業
（　　）基金積立事業

２．活動記録等の資料（写真等）
３．帳簿の写し（監事の記名・押印のあるもの）
４．通帳の写し
５．契約書の写し（１件の支払額が５０万円を超える場合に限る。）
６．備品購入、業者選定等の選定委員会等の会議録（ステップアップ事業）

注１）不要な文字は抹消すること。
注２）上記以外の添付書類がある場合は、連番を付して記載すること。

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

特産品開発事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

平成２１年度より特産品開発に取り組み、栽培した原木椎茸を定期的に「きなぁた瑞浪」等へ出荷する。また、ふるさと納税の返礼品として全国へ日吉町の特産品としてのＰＲする。現在のほだ木の保有数は約６，０００本、令和７年度も６００本のほだ木を確保し、引き続き安定した出荷を目指す。ほだ場にほだ木を立てかけるための単管パイプを設置する。

また、２月にリニューアルオープンした『天狗の台所』を活かし、椎茸、その他の農産物を使用したドライフルーツ、ジャムなどの加工品の開発を目指す。さらに、小型食品乾燥機の導入により利便性がよくなったことから、これまで以上に多くの方に加工所を利用していただけるようにＰＲする。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

椎茸収穫量　　年間　　約３５０kg
加工商品化　　年間　　約　３０kg（５５ｇ×５５０袋）
日吉町の特産品としてのＰＲに努める
加工製品（乾燥野菜、乾燥果物、粉末商品等）の商品開発に取り組む
ふるさと納税返礼品　１０件

４　事業に要する経費（総事業費）

910,000　　円

５　交付金申請額

112,000　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

特産品開発事業

２　活動報告（活動内容等）

平成２１年度より取り組んでいる椎茸の原木栽培は１７年目を迎え、「きなぁた瑞浪」にも出荷し、イベントなどでも販売し町内外へ日吉町の特産品としてＰＲすることができました。
今年度は８００本のほだ木を確保し、２６名の参加者があり植菌、仮伏せ作業を行うことができました。
また、新たな特産品開発として、「どくだみ」、「ローゼル」の商品開発に取り組みました。どくだみは『どくだみ茶』に加工し、夏祭りで試飲会、販売を行い、ローゼルはにじいろファームの一画で試験栽培し「ドライローゼル」、粉砕し加工した「ローゼルふりかけ」の２種類を試作し、日吉町文化祭にて試食、販売を行い、良い感触が得られたため、次年度には安定生産ができるよう体制を整えていきます。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

原木の確保（購入及び菌打ち）800本（600本）　　（　・　）目標数
まちづくりほだ木所有数＝約6,400本
椎茸（生）収穫実績＝307kg（350kg）　椎茸加工（乾燥）＝31kg（30kg）
農産物加工所利用料＝31件　109,435円
きなぁた売上＝251,700円　その他売上＝274,081円

４　事業に要した経費（総事業費）

877,068　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

137,577　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	椎茸収穫開始（春分）	委託料	50,000
	天狗の台所一般利用（通年）	備品費	24,372
		手数料等	19,000
		消耗品費	9,703
	乾燥しいたけ販売（通年）	消耗品費	9,512
	きなぁた瑞浪への出荷	手数料等	40,570
		消耗品費	386
	しいたけ乾燥（通年）	光熱水費	259,622
５月	椎茸ほだ木管理(通年)	委託料	100,000
		使用料等	20,000
６月			
７月			
８月			
９月			
１０月	特産品開発試作	消耗品費	2,129
１１月			
１２月	原木伐採	保険料	1,080
1月			
２月	原木玉切り、搬出	保険料	900
		光熱水費	3,145
		食料費	11,904
３月	植菌作業	食料費	18,408
		消耗品費	302,337
		使用料等	4,000
合計			877,068

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	211,000	137,577	
自主財源	169,000	104,275	
その他（しいたけ売上等）	500,000	635,216	
合　　計	880,000	877,068	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
原木購入経費	原木、菌購入	消耗品費	300,000	202,000	
		光熱水費	0	3,145	
		食料費	0	11,904	
		保険料	0	1,980	
		小計	300,000	219,029	
植菌作業経費	植菌作業 菌の購入	消耗品費	70,000	100,337	
		食料費	30,000	18,408	
		使用料等		4,000	
		小計	100,000	122,745	
管理経費	ほだ木の管理	委託料	100,000	100,000	
		使用料等	20,000	20,000	
	加工所経費	委託料	50,000	50,000	
		小計	170,000	170,000	
天狗の台所	備品	備品費	50,000	24,372	
		手数料等		19,000	
		消耗品費		9,703	
		小計	50,000	53,075	
本伏せ経費	本伏せ経費	消耗品費	145,000	0	
		食料費	5,000	0	
		小計	150,000	0	
販売経費	きなぁた瑞浪手数料	手数料等	55,000	40,570	
	きなぁた瑞浪ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ	消耗品費	5,000	386	
	販売用	消耗品費	30,000	9,512	
	乾燥・家賃等	光熱水費		259,622	
		小計	90,000	310,090	
特産品開発経費	特産品開発	消耗品費	50,000	957	
		原材料費		1,172	
		小計	50,000	2,129	
合　　計			910,000	877,068	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

日吉町活性化事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

天神窯周辺整備事業では、天神窯・天狗塚・弁財天の池など自然を活かしながら整備を行い、来訪者数の増加を図る。また、平成２８年度に建設した天神窯東屋（バーベキュー施設）とマレットゴルフ場の連携を図り体験エリアとして積極的にＰＲしていく。

また、天神窯春まつり・日吉町夏祭り・日吉町文化祭で中学生、小学生ボランティアに参加してもらい、幅広い年齢層の町民がふれあう機会を増やす。

にじいろファーム（日吉こども園・日吉小学校・ＪＡ日吉支店との合同事業）でのさつまいも植付け・収穫体験を通して地域住民の交流の場とする。

日吉小学校５年生を対象に「里山体験学習」を実施し、自然観察・森林管理の体験を通じて、青少年の育成に努める。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

中山道周辺施設である天狗塚・弁財天の池の整備・天神窯東屋のＰＲを実施し、誘客を図る。

また、天神窯春まつり・日吉町夏祭り・農園での体験事業では、町民のふれあいの場となるように各地区のまちづくり推進委員や町内の各種団体との連携を図る。

日吉小学校５年生を対象に「里山体験学習」を行い、自然観察・里山体験を通じて青少年の育成指導に努める。

天神窯春まつり	参加者数	８００人
中山道周辺整備	参加者数	６０人
天神窯周辺整備	参加者数	１００人
日吉町夏祭り	参加者数	８００人
農園事業	参加者数	２５０人
里山体験学習	参加者数	３０人

４　事業に要する経費（総事業費）

407,000　　円

５　交付金申請額

270,000　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

日吉町活性化事業

２　活動報告（活動内容等）

日吉町北野にある学習工房「天神窯」周辺には、中山道（琵琶峠）や天狗塚、マレットゴルフ場があり、自然の中で過ごせる拠点施設として、恒例の「天神窯春まつり」を開催しました。祭りには町内外から多くの来場者があり、目玉の『天狗の下駄飛ばし』では、天狗に扮したスタッフが場を盛り上げ、順番待ちの列ができるほど盛況でした。

天神窯のバーベキュー施設や天狗塚には、テレビで放映されたこともあってか、市内外からの利用者や登頂に訪れる方が増え、天神窯周辺、天狗塚登山道の整備中に出会うこともありました。

ＪＡとうと日吉支店・日吉こども園・日吉小学校との合同事業でもあるにじいろファームでのさつまいもの植え付け、収穫体験をはじめ、天神窯春まつり、日吉町夏祭り、日吉町文化祭などでは、多くの小中学生がボランティアとして参加し、賑わいを見せ、幅広い年齢層の町民がふれあう場となりました。

小学５年生対象の里山体験学習では、５月に小学校にて事前学習を行い、１１月にウッドバーニングで作成した樹名板を日本ガイシの社有林「みんなの森みずなみ」にて、取付け、自然観察・森林の管理の体験を通して青少年の育成に努めました。

また、３月に日本ガイシとの交流イベントとして、しいたけ菌打ちを行いました。社員とその家族、３４名の参加がありました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

天神窯春まつり	参加人数＝800人　(800人)	（　　）目標数
中山道周辺整備	参加人数＝ 60人　(60人)	
天神窯周辺整備	参加人数＝ 70人　(100人)	
日吉町夏まつり	参加人数＝1000人　(800人)	
農園事業	参加人数＝400人　(250人)	
里山体験学習	参加人数＝ 30人　小学5年生ほか（30人）	

４　事業に要した経費（総事業費）

423,786　円

５　夢づくり地域交付金充当額

261,784　円

（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	東屋の管理（通年）	消耗品費	820
	天神窯環境整備		
	天神窯春まつり開催	消耗品費	128,334
		食料費	45,474
		保険料	8,142
５月	さつまいも苗植え、管理（通年）	消耗品費	11,896
		備品費	21,721
６月	中山道周辺整備（草刈等）	原材料費	10,882
７月			
８月	日吉町夏祭り開催	消耗品費	34,850
		食料費	36,888
		報償費	21,692
		通信費等	7,260
９月			
１０月	中山道環境整備（草刈）		
	農園収穫祭	食料費	3,988
		光熱水費	7,060
１１月	天狗塚登山道環境整備	食料費	5,656
		通信費等	3,825
		消耗品費	13,860
		光熱水費	4,560
	里山体験学習	使用料等	36,685
		備品費	18,193
１２月			
１月			
２月			
３月	日本ガイシと交流会	報償費	2,000
合計			423,786

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	270,000	261,784	
自主財源	137,000	14,956	
その他（イベント売上・利用料）		147,046	
合　　計	407,000	423,786	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
天神窯活性化経費	天神窯春まつり	消耗品費	220,000	128,334	
		食料費	0	45,474	
		保険料		8,142	
	天神窯周辺整備	光熱水費	5,000	0	
		消耗品費	5,000	820	
		小計	230,000	182,770	
中山道整備事業経費	天狗塚登山道・中山道環境整備	原材料費	20,000	10,882	
		使用料等	10,000	0	
		光熱水費	5,000	4,560	
		食料費	5,000	5,656	
		通信費等	0	3,825	
		消耗品費	0	13,860	
		小計	40,000	38,783	
夏まつり事業経費	日吉町夏祭り	消耗品費	40,000	34,850	
		食料費	35,000	36,888	
		通信費等		7,260	
		報償費		21,692	
		小計	75,000	100,690	
農園事業経費	さつまいも畑	光熱水費	12,500	7,060	
		消耗品費	10,000	11,896	
		食料費	2,500	3,988	
		備品費		21,721	
		小計	25,000	44,665	
里山体験学習	小学生の里山体験学習開催	使用料等	32,000	36,685	
		備品費		18,193	
		小計	32,000	54,878	
日本ガイシ交流会	植菌体験会	報償費		2,000	
		小計		2,000	
姫街道事業経費	輿及び衣装の管理	消耗品費	5,000	0	
		小計		0	
合　　計			402,000	423,786	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

まちづくり情報発信事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

日吉町まちづくり便り、ホームページ、インスタグラムを通じて、行事やまちづくり活動の告知、報告を町内外に発信していく。
町内設置の「お知らせ看板」を利用した行事のＰＲに努める。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

年６回、「日吉町まちづくり便り」をフルカラー印刷で発行し、全戸に配布する。見やすく分かりやすい紙面を目指す。
また、ホームページやＳＮＳで日吉の魅力を発信し町内外に日吉をアピールし、Ｉターン Ｕターンなどにつなげる。行事などの告知や報告もインスタグラムなどを活用して行う。
ホームページアクセス数　　１日　２００人
インスタグラムフォロワー数　　５００人

４　事業に要する経費（総事業費）

282,000　　円

５　交付金申請額

230,000　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

まちづくり情報発信事業

２　活動報告（活動内容等）

まちづくり便りを年６回全カラー刷りし全戸配布しました。地域と密着したイベント情報や子どもたちの活躍を多く掲載し、各部会の活動報告など身近な情報誌として発行できました。
ホームページやインスタグラムにより、町内外の方が日吉町の最新情報を得られるようにしました。前年度比較でホームページアクセス数４９%、インスタグラムフォロー数は１５%増加しています。
また、町内３箇所に設置してあるお知らせ看板を活用し、町内の行事を広くＰＲすることができました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

情報誌「まちづくり便り」：６回発行
まちづくりホームページ：年間アクセス数　104,046人
インスタグラム　　：フォロワー数　　539人
お知らせ看板：町内行事のＰＲを行いました

４　事業に要した経費（総事業費）

237,150　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

237,150　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	ホームページ・インスタグラム更新（通年） おしらせ看板（通年）		
５月	まちづくり便り１０７号発行 広報委員会	印刷費	28,800
６月			
７月	まちづくり便り１０８号発行 広報委員会	印刷費	28,800
８月			
９月	まちづくり便り１０９号発行 広報委員会	印刷費	28,800
１０月			
１１月	まちづくり便り１１０号発行 広報委員会	印刷費	28,800
１２月			
１月	まちづくり便り１１１号発行	印刷費	28,800
２月	ホームページ管理料	使用料等 手数料等	63,580 770
３月	まちづくり便り１１２号発行 広報委員会	印刷費	28,800
合計			237,150

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	230,000	237,150	
自主財源	35,000	0	
その他（　イベント売上　　）			
合　　計	265,000	237,150	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
まちづくり 便り印刷経費	日吉町まちづくり 便り等の発行	印刷費	173,000	172,800	
		消耗品費	15,000		
		備品費	5,000		
		食料費	5,000		
		小計	198,000	172,800	
ホームページ 維持・管理経費	ホームページ 維持費	使用料等	64,000	63,580	
		手数料等	0	770	
	PR用デザイン	報償費	20,000		
		小計	84,000	64,350	
合　　計			282,000	237,150	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

移住定住促進事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

令和５年度に策定した地域計画で『若い世帯、移住者が増え、人口減少が緩やかになっている』ことを目標とし、年々増加している空き家の有効活用として「空き家対策委員会」と「いい移住委員会」が連携して瑞浪市の空き家バンクへの登録推進を促す。また、空き家相談、空き家ツアーの開催を行うほか、移住が決まった際にはまちづくりが窓口となり物件の片付け『ちょっと手伝い隊』、移住後の相談、アドバイスを行う。移住者が町に溶け込めるよう、町民と移住者の交流イベントを開催する。この活動を行っていくうえで、同様な取り組みを行っている釜戸町・陶町・大湫町と連携を図っていく。

また、新たな試みとして、年代別に自由に話のできる『しゃべり場』を開催し、課題解決の糸口を探っていく。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

移住件数	３件/年
移住者ミーティング	２回/年
空き家ツアー	２回/年
ちょっと手伝い隊	３回/年
しゃべり場	３回/年

４　事業に要する経費（総事業費）

130,000　　円

５　交付金申請額

70,000　　円

（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

移住定住促進事業

２　活動報告（活動内容等）

『若い世帯、移住者が増え、人口減少が緩やかになること』目標とし、いい移住委員会が中心となり、毎月会議を行い、活動を行いました。
５月には移住者が決まった住宅の片付け、草刈りなどの手助けする「ちょっと手伝い隊」として支援を行い、８月と１１月には空き家ツアーを開催しました。移住には結びつきませんでしたが、参加者の反応を直接知るいい機会となりました。
夏祭りでは、初めていい移住委員会としてブースを出店し、うちわにデコレーションしたりお菓子つかみどりを子どもたちが楽しんで、地域住民とふれあう場ができました。
１１月には第２回の移住者交流ミーティングを開催し、４４名の参加者があり、移住者同士、地域住民との交流ができました。また、インスタグラムによる町の魅力や移住者の紹介など情報発信を行いました。
しゃべり場は、なかなか人数が集まらず、開催できない回もありましたが、１月には多世代が集り、意見交換の場を設けることができました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

移住者件数　　：1件（3件）
移住者ミーティング　：1回（2回）
空き家ツアー　　：2回（2回）
しゃべり場　　：1回（3回）
ちょっと手伝い隊　：1回（3回）
インスタグラムフォローワー数：87人

４　事業に要した経費（総事業費）

67,809　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

63,244　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	いい移住委員会　会議　（通年）	食料費 印刷費	5,653 3,168
５月	ちょっと手伝い隊	食料費 消耗品費	2,155 1,191
６月			
７月			
８月	夏祭り　ブース出店		
９月			
１０月			
１１月	移住者交流ミーティング	食料費 消耗品費	49,522 6,120
１２月			
１月			
２月			
３月			
合計			67,809

8　収支実績

（1）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	70,000	63,244	
自主財源	60,000	4,565	
その他（　　）			
合　　計	130,000	67,809	

（2）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
空き家対策・いい移住委員会	空き家ツアー	食料費	5,000	0	
	ちょっと手伝い隊	食料費	15,000	2,155	
		消耗品費		1,191	
	チラシ等	印刷費	10,000		
	移住者ミーティング	食料費	65,000	49,522	
		消耗品費	10,000	6,120	
	年代別しゃべり場	食料費	15,000	0	
	会議費	食料費	10,000	5,653	
		印刷費		3,168	
		小計	130,000	67,809	
合　　計			130,000	67,809	

様式第２号（第６条関係）

事業計画書

１　事業名

教育文化事業

２　事業の概要（地域の課題、活動内容、目的等）

将来のまちづくりの担い手である青少年の活動支援を行う。日吉こども園保護者会、てらこや、木かげ教室などを支援すると共に、地域長寿会・小学校・こども園の協力を得て花いっぱい運動（花壇づくり）を実施する。
文化財保存会を中心に、町内文化財の保護及び保全活動の実施をするほか、地域に残る古い文献を読める人材を育成するために古文書教室を月１回開催する。
日吉小コミュニティ・スクールに協力してあいさつ運動、青色回転灯防犯パトロール及び「下校時の見守り」を行う。

３　事業の成果目標（数字等でわかりやすく）

・花苗配布	２回/年
・日吉町あいさつ運動	通年
・青色回転灯防犯パトロールを実施する。	参加者数　１００名（合計数）
・古文書教室の開催	１回/月

４　事業に要する経費（総事業費）

365,000　　円

５　交付金申請額

234,000　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　合同で実施する地区

様式第９号（第１１条第１項関係）

実績書

１　事業名

教育文化事業

２　活動報告（活動内容等）

将来、青少年がまちづくりの担い手となるための支援活動として、公民館で遊ぼう、日吉てらこや、木かげ教室、日吉こども園への活動支援を行いました。
また、６月、１１月には花いっぱい運動を行い、マリーゴールド・ベゴニア、パンジー・ビオラ等で小学校やこども園、地域の花壇に彩りが増えました。
また、文化財保存会と連携し、町内文化財の保護及び保全活動や古文書教室を実施することができました。
地域の安全・安心を守るため青色回転灯パトロールを行い、併せて「下校時のバス待ち児童の見守り」を行いました。

３　事業成果（目標に対しての成果：数字等でわかりやすく）

・花苗配布　　2回/年（2回/年）　　（　　）目標数
・日吉町あいさつ運動　　通年（通年）
・青色回転灯防犯パトロールの実施　　参加者数 31回　71名（100名）
・古文書教室の開催　　全11回1月を除く（1回/月）

４　事業に要した経費（総事業費）

341,565　　円

５　夢づくり地域交付金充当額

216,245　　円
（内、交付金加算額　　円）

６　共に実施したチャレンジ研究室研究員名

7　活動経過、活動の内容

（単位：円）

実施時期	活動の内容	経費の内容	
		決算科目	金額
４月	防犯パトロール(青パト）の実施（通年） 古文書初心者教室（通年）	通信費等 消耗品費 消耗品費 印刷費	7,660 956 10,285 6,340
５月	こども園保護者会	補助金等	100,000
６月	花壇づくりによる環境美化(花苗代)	消耗品費	90,000
７月	てらこや支援	消耗品費	5,320
８月	公民館で遊ぼう 木かげ教室支援	消耗品費 消耗品費	6,000 20,000
９月			
１０月			
１１月	花壇づくりによる環境美化(花苗代)	消耗品費	90,985
１２月	町内一斉空缶拾い		
１月	百人一首大会	報償費	4,019
２月			
３月			
合計			341,565

8　収支実績

（１）収入の部

（単位：円）

内　　容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
夢づくり地域交付金	190,000	216,245	
自主財源	65,000	125,320	
その他（　　）			
合　　計	255,000	341,565	

（２）支出の部

（単位：円）

事　　項		支出内容	本年度 予算額	本年度 実績額	備考
経費区分	活動の内容				
教育部会 事業経費	こども園 保護者会助成	補助金等	100,000	100,000	
				0	
	あいさつ運動	消耗品費	30,000	0	
		小計	130,000	100,000	
青少年部会 事業経費	各種団体支援	消耗品費	40,000	35,339	
	花壇苗配布	消耗品費	180,000	180,000	
		消耗品費		985	
		小計	220,000	216,324	
民生部会 事業経費	青パト実施	通信費等	10,000	7,660	
		消耗品費		956	
		小計	10,000	8,616	
文化財事業	古文書教室	印刷費	2,500	6,340	
	文化財保全活動	消耗品費	2,500	10,285	
		小計	5,000	16,625	
合　　計			365,000	341,565	

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	日吉地区
事業番号	1
事業名	特産品開発 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	ほだ木の確保600本　椎茸収穫量350kg　加工商品30kg　ふるさと納税返礼品　10件	3
		実績値	ほだ木の確保　800本(H21年～累計数6,400本) 椎茸生産実績＝307kg　椎茸加工実績＝31kg　加工所一般利用＝31件 きなぁた売上＝251,700円　その他売上＝274,081円 ふるさと納税返礼品　3件	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	日吉町農産加工所の有効活用。しいたけ以外の粉末化した加工品の用途研究及び新たな特産品が必要である。	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				22

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2(継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	しいたけの原木栽培は17年目を迎え、きなぁた瑞浪へ出荷、まちづくりのイベントや日吉公民館主催の「軽トラ市」への出店を通して、日吉町の特産品としてPRすることができた。購入者に満足していただけるよう、品質のよい商品の出荷に努めた。植菌作業では26名が参加し、仮伏せ作業が実施できた。今後の生産安定化のためにも継続的にほだ木(原木)を確保していく必要がある。 開所14年目が経過した『天狗の台所』では大小の食品乾燥機を導入し、少量から利用できる体制を整えたことで、個人利用者でも気楽に乾燥加工が行えるようになった。 新たな特産品開発では、どくだみ・ローゼルの商品開発に取り組み、どくだみ茶、ドライローゼル、ローゼルふりかけが完成し、日吉町文化祭では試食・販売を行い、きなぁた瑞浪での販売も始め、今後ローゼルについては安定供給ができるよう取り組んでいく。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	日吉地区
事業番号	2
事業名	日吉活性化事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	天神窯春まつり 参加者数 800名 中山道周辺整備 参加者数 60名　天神窯周辺整備 参加者数 100名 日吉町夏祭り 参加者数 800名　農園事業 参加者数 250名 里山体験学習 参加者数 30名	4
		実績値	天神窯春まつり 参加者数 800名 中山道周辺整備 参加者数 60名　天神窯周辺整備 参加者数 70名 日吉町夏祭り 参加者数 1,000名　農園事業 参加者数 400名 里山体験学習 参加者数 30名　日本ガイシ植菌体験会 39名（まちづくり含む）	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		5
4	地域の課題解決	課題の内容	天神窯周辺施設(マレットゴルフ場、天神窯東屋、天狗塚)を活用したエリアの活性化。	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				25

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	天神窯春まつりや日吉町夏祭りには町内外から多くの参加があり、大変賑わった。JAとうと日吉支店、日吉こども園、日吉小学校PTAとの合同事業(にじいろファーム)でのさつまいもの植付けや収穫体験では、幅広い年齢層の町民が参加し、ふれあいの場となった。 今回から日本ガイシの社有林「みんなも森みずなみ」にて開催した小学5年生対象の里山体験学習では、自然観察会、森林の管理を通して青少年の育成に努めた。 前年度に続き、日本ガイシとの交流を深めるイベントとして、6月に本伏せ、3月にしいたけの植菌体験会を行い交流を図った。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉地区

事業番号　3

事業名　まちづくり情報発信 事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	まちづくり便り　年6回発行（全カラー刷り） ホームページの充実とメンテナンス、インスタグラムでの情報発信 ホームページアクセス数　1日　200人、インスタグラムフォロワー数　500人	4
		実績値	まちづくり便り　年6回発行 ホームページ　年間アクセス数　104,046人（R6年　88,284人）1日285人 インスタグラムフォロワー数　539人（R6年　470人）	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。（120%以上） 4 実績値が成果指標の数値を上回った。（100%～120%） 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。（90%～100%） 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	ホームページやSNSで日吉の魅力を発信し町内外に日吉をPRする	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（事業手法を見直し、引き続き展開する） 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。（課題の見直し）	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		5
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				23
今後の事業展開の方向性		1 拡充　2（継続）　3 終了　4 廃止		
意見・感想など		情報ツールとして定着したまちづくり便りは、地域と密着した情報や子どもたちの活躍を多く掲載し、各部会の活動報告など身近な情報紙として発行できた。 町内3箇所に設置してあるお知らせ看板を活用し、町内の行事を広くPRすることができた。 ホームページやインスタグラムなどのSNSを活用し、積極的に町内外へ日吉町のPRができた。		

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名　日吉地区

事業番号　4

事業名　移住定住促進　事業

評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	移住件数　年3件、移住者ミーティング　年2回、空き家ツアー　年2回 ちょっと手伝い隊　年3回、しゃべり場　年3回	3
		実績値	移住件数　年1件 移住者ミーティング　年1回 空き家ツアー　年2回 ちょっと手伝い隊　年1回 しゃべり場　年1回	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		4
4	地域の課題解決	課題の内容	空き家対策委員会といい移住委員会が連携して、空き家バンクへの登録推進を促す	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		3
合計点				21

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2 (継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	5月には移住者が決まった住宅の片付け、草刈りなどをする「ちょっと片付け隊」として支援を行い、8・11月には空き家ツアーを実施。移住には結びつかなかったものの参加者の反応を知るいい機会となった。 11月には第2回移住者交流会を開催し、44名の参加者があり、移住者と地域住民との交流会を図ることができた。 しゃべり場は参加者の集客が思うようにできず、1回だけの実施となった。参加者を募ることが難しいと判断し、次年度の開催は見送ることとした。 インスタグラムをはじめ、町の魅力や移住者の紹介する動画での情報発信を行なった。

夢づくり地域交付金事業事後評価調書

地区名	日吉地区
事業番号	5
事業名	教育文化 事業

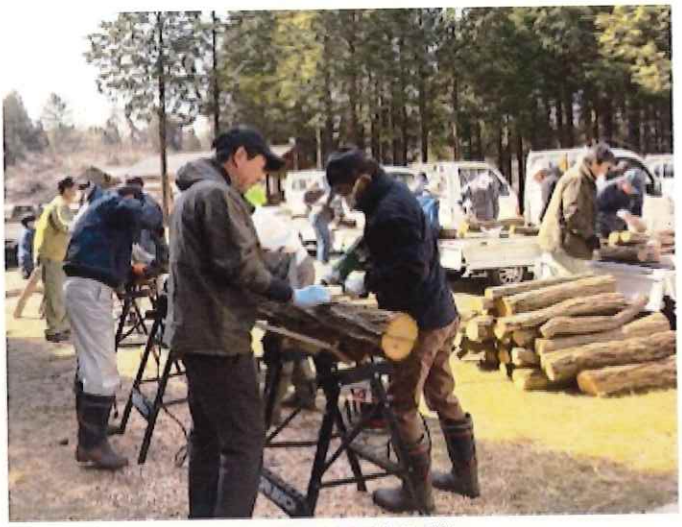
評価項目		評価項目に対する各まちづくり事業の状況		評価点数
1	住民総意の事業立案	5 住民総意のまちづくり計画に沿って事業を立案した。 4 事業立案の際に地区住民および地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 3 事業立案の際に地区住民または地区団体へ意見の聞き取りを実施した。 2 事業立案の際に関係者へ意見の聞き取りを実施した。 1 意見の聞き取りを実施しなかった。		4
2	成果目標の達成度	成果目標	花苗配布 2回／年、日吉町あいさつ運動 通年 青色回転灯防犯パトロール 参加者数 100名、古文書教室の開催 1回/月	3
		実績値	花苗配布 2回／年 日吉町あいさつ運動 通年 青色回転灯防犯パトロール 31回71名 古文書教室の開催 全11回、1月を除く1回/月	
		達成度	5 実績値が成果指標の数値を大幅に上回った。(120%以上) 4 実績値が成果指標の数値を上回った。(100%～120%) 3 実績値が成果指標の数値をほぼ達成できた。(90%～100%) 2 実績値が成果指標の数値に届かなかったが過去の実績を上回った。 1 上記以外	
3	まちづくり組織の強化	5 事業の実施により、具体的にまちづくり組織の拡大や活性化につながった。 4 事業の実施に際して、まちづくり組織の強化に結びつく結果が得られた。 3 事業の実施により、まちづくり組織の活動に対する地域住民の理解が深まった。 2 事業を実施しても、まちづくりの活動に対する住民の意識に、特に変化はなかった。 1 上記以外		3
4	地域の課題解決	課題の内容	将来のまちづくりの担い手である青少年の活動支援を行う	3
		課題の解決状況	5 課題が解決した。または、夢づくり地域交付金事業として次年度以降の事業を展開する必要がなくなった。 4 今後1～2年で課題が解決される見込みとなった。 3 課題解決に向けて一定の進展が見られた。 2 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(事業手法を見直し、引き続き展開する) 1 課題解決に向けて、特に進展は見られなかった。(課題の見直し)	
5	効果的な予算執行	5 予算全体が効果的かつ適正に使われた。 4 予算が課題解決に向けて効果的に使われた。単年度としては効果が高いといえないが、次年度以降に確実に結びつく可能性が高い。 3 予算が適正に使われ、ある程度課題の解決に効果があった。 2 あまり効果がなかった 1 まったく効果がなかった。		4
6	地域のコミュニティ強化	5 事業の実施により、大きく地域コミュニティの強化につながった。 4 事業の実施により、地域コミュニティの強化につながった。 3 事業の実施により、ある程度、地域コミュニティの強化につながった。 2 事業を実施したが、コミュニティ強化に向けて変化がなかった。 1 上記以外		4
合計点				21

今後の事業展開の方向性	1 拡充　2(継続)　3 終了　4 廃止
意見・感想など	将来、まちづくりの担い手となる青少年の活動支援として、公民館で遊ぼう、日吉てらこや、木かげ教室、日吉こども園への支援を行なった。 青色回転灯防犯パトロールでは、巡回による地域の安全・安心を守る活動に取り組むとともに、地域の方の協力を得て「下校時のバス待ち児童の見守り」も実施した。 町内花いっぱい運動の一環として、6月・11月の年2回、こども園や小学校、各地区団体をはじめ、多くの町民に花の苗を配布し、町内を花で彩った。 町内にある文化財の保護、また地域に残る古い文献を読める人材を育成するために古文書教室を開催した。

特産品開発事業



しいたけ原木準備
（令和７年１２月・令和８年２月）



しいたけ植菌作業
（令和８年３月）



しいたけ収穫
（春・秋）

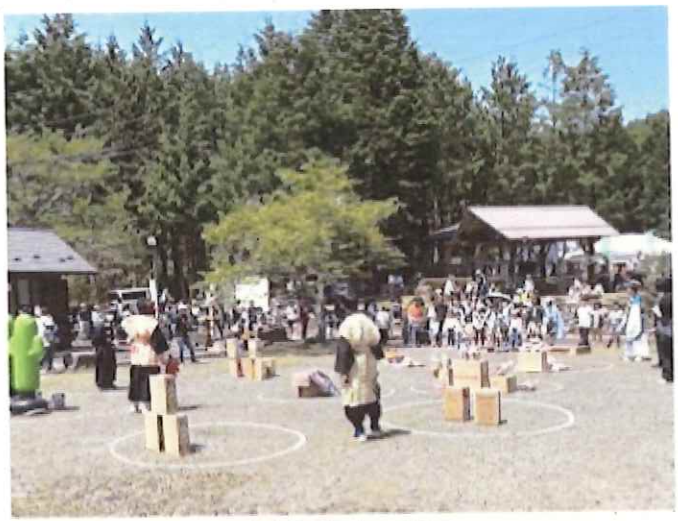


イベント販売、ふるさと納税返礼品
（通年）



特産品開発 ～ ローゼル栽培・ローゼル茶＆ローゼルふりかけ商品化 ～
（通年）

日吉町活性化事業



天神窯春まつり
（令和７年４月）



にじいろファーム ～植え付け～
（令和７年６月）



日吉町夏祭り
（令和７年８月）



里山体験学習
（令和７年１１月@天狗塚）



にじいろファーム収穫祭
（令和７年１１月）



日本ガイシとのしいたけ菌打ち交流
（令和８年３月）

まちづくり情報発信事業



まちづくり便り発行（１０７号～１１２号）
（奇数月１日）



インスタグラム更新
（通年）



ホームページ更新
（通年）

移住定住促進事業





いい移住委員会『移住者ミーティング２０２５』
参加者４４名（移住者２５名、まちづくり関係者１９名）
（令和７年１１月）



ちょっと手伝い隊
（令和７年５月）



空き家ツアー
（令和７年８月・１１月）



いい移住委員会イスタグラム開設
（令和７年１２月）

教育文化事業



花いっぱい運動（@日吉こども園）
（令和７年６月・１１月）



花いっぱい運動（@一般配布）
（令和７年６月・１１月）



公民館で遊ぼう～日吉アカデミー学級生と時計づくり～
（令和７年８月）



日吉公民館大春大百人一首大会
（令和８年１月）



青色回転灯パトロール及びバス待ち児童見守り
（令和７年４月～令和８年３月 全３１回）



古文書教室
（毎月第４土曜日＊１月を除く）